

行政視察報告書

委員会名	議会改革推進特別委員会
参加委員	今井敏博委員長・小川剛副委員長(23日のみ)・佐藤貴雄委員・金井久男委員・高橋由信委員・宇佐美誠委員・池島利明委員・武者葉子委員・小林克行副議長
日 程	令和6年1月22日(月)、23日(火)
視 察 先	静岡県湖西市議会、愛知県長久手市議会
視察内容【1日目】	
視察自治体	静岡県湖西市議会
視察項目	高校生との意見交換会・議会報告会について
概 要	<p>湖西市議会では、18歳選挙権を実現する改正公職選挙法が平成28年6月に施行されたことにより、議場の見学や議員との意見交換により地方議会の仕組みや役割を認識するとともに、主権者としての認識を持ってもらうために平成28年度から高校生との意見交換会を実施している。また同様に、市民への説明責任を果たすとともに、市民の意見を議会活動に反映させることを目的に「市民が主役で、活発な議論をする、見える議会」を掲げ、平成25年度から議会報告会を開催している。</p> <p>安中市議会としても、安中市議会基本条例第6条第1項の規定に基づき、議会活動について市民に対する説明責任を十分に果たすとともに、市民の立場に立った政策の立案、提言等の機能を強化し、まちづくりの主体である市民の多様な意見を的確に市政に反映させるため、今年度から市民との意見交換の場を設けている。今後は、さらに透明性のある議会、開かれた議会を実現するため、先進自治体である湖西市議会の取り組みを視察することとした。</p>
説明内容	<p>【湖西市の概要】</p> <p>静岡県の最西端で愛知県との境に位置し、気象条件にも恵まれて交通の便もよく、繊維産業から機械産業へと移り変わっても人口と産業の集積が進み、自動車関連や電気機器を中心に工業都市へと発展。農業では豚の産出額が県内1位で、浜名湖産養殖うなぎとカキが特産品である。</p> <p>総面積…86.56km²(安中市276.31km²) 人 口…58,079人(安中市54,643人(R5.12.31現在))</p> <p>【高校生との意見交換会】</p> <p>1.実施体制</p> <p>R4年度までは担当委員会が定まっておらず、広報広聴や議会活性といった特別委員会が実務を担っていたが、R5年度からは広聴特別委員会が議会報告会とともに担当したことにより、実務と調査研究を併せて行うことになった。</p>

2.開催状況

H28 湖西高校 2年生29人 市議会概要説明、議場見学、意見交換

H29 湖西高校 3年生40人 市議会概要説明、議場見学、意見交換

新居高校 3年生19人

新居高校 2年生27人

H30 湖西高校 3年生34人 議場見学、市長室見学、意見交換

新居高校 2年生28人

R1 湖西高校 2年生35人 議場・議長室見学、意見交換

新居高校 2年生26人

R2 湖西高校 2年生39人 議場・議長室見学、書面による意見交換(コロナ対策)

新居高校 2年生26人

☆ R3から、「**受けた意見を発展させる施策の検討が必要**」との考えから、開催方法を変更

R3 湖西高校 2年生35人 ①各校にて出前講座(課題を共有)

新居高校 2年生9人 ②議場見学、課題抽出ワーク

③両校合同意見交換会

④両校44名の署名入り請願書提出・採択

R4 新居高校 3年生10人 市制50周年記念「高校生議会」開催

2年生6人 ①課題抽出(議員による出前講座)

②課題の深掘(市職員等による出前講座)

③政策立案(政策提言の作成)

④議場において高校生議会を開催

3.事前準備について

(1)開催時期の選び方及び高校との事前調整について

①議会事務局が高校との事前打ち合わせの日程調整

②正副委員長と事務局で高校に伺い事前調整

〈調整内容〉

・開催時期 対象生徒 会場(移動手段等も)

・意見交換のテーマ(この段階で意見があれば伺う)

※開催時期は基本的に高校都合

※授業として行うため前年度から調整が必要な場合もある

(2)配付資料や議会説明資料等について

①事前配付資料

・市議会や市議会議員の説明

・市議会の主な仕事、市民や市長との関係

・話し合い(会議)に流れや普段の仕事

・委員会や正副議長の役割、傍聴について

②当日配付資料

- ・事前配付資料の抜粋

(3) 議会側の事前準備(備品等)について

①備品

- ・名立 ICレコーダー バス(必要に応じて) モニター 模造紙・付箋 アンケート 記録用紙

②アンケートの項目

- ・議場や正副議長室の感想
- ・議員と討論して聞きたいことや要望は伝わったかの感想

4.意見交換の進め方について

(1) テーマの設け方について

①委員会にてテーマの候補を決めて高校に提示後、高校にて決定(候補以外も可)

例)・教育・スポーツ等市に要望すること

- ・どうしたら魅力的な市になるか
- ・市の自慢できる点、残念な点 etc...

(2) 会の次第等の工夫、意見交換の進め方について

①司会は各班2名の生徒が実施

②事前学習でテーマに関する意見を生徒に出してもらい、議員間で共有しておく

5.会場設営等について

(1) 机の配置や座る場所等の配慮について

①会場により様々な形態で行っている

(2) 録音録画等について

①高校に確認後、議会だよりや実施報告書(web公開)用の写真撮影、ICレコーダーにて録音

②班ごとに議員が議員用記録用紙に意見をまとめる

6.終了後の対応について

(1) 報告書作成と公開について

①議会だよりに実施内容を掲載し、報告書を議会のウェブサイトで公開



(2) 要望事項等を執行部に伝達する等の対応について

→今後の検討課題

(3) 今後の課題について

①意見や要望の活用方法が曖昧

- ・実施に関する手順書(要綱等)がないため、その都度の対応にならざるを得ない
- ・地元の高校以外に通う市内在住者の意見を聴く機会の創出

【議会報告会】

1. 実施体制

R4年度までは実行委員会が実務を担っていたため、特別委員会が調査研究した事項をすぐに反映させることができなかった。R5年度からは広聴特別委員会が高校生との意見交換会とともに担当したことにより、実務と調査研究を併せて行うことになった。

2. 開催状況

H25/4月 5会場 244人(最大54 最少44)

H26/5月 5会場 307人(最大81 最少49)

H27/11月 5会場 245人(最大75 最少38)

H28/1・2月 2会場 108人(63人 45人)

H29/10月 6会場 177人(最大73 最少13)

H30/5月 6会場 77人(最大25 最少7)

R1/11月 5会場 66人(最大16 最少6)

R2 中止(コロナ禍のため R5まで会場での開催はなし)

R3/1月 オンライン(ZOOM)により特定の団体(KSL)と実施 9人

R4/11月 オンライン(ZOOM)により団体を限定せず実施 7人

R5/1月 3日間で9会場132人(最大25人 最少7人)

3. 事前準備について

☆ 原則として「湖西市議会議会報告会開催要綱」に基づき開催する

(1) 開催時期と会場選定について

①開催時期はおおむね10～11月(5年度は改選のため1月開催)

②2年に改正し6会場から9地区9会場に変更(年度ごとに異なる会場になるよう調整予定)

(2) 広報等の市民周知について(R5年度の例)

・自治会連合会での開催案内(理事会等)

・議会だより、議会ウェブサイトへの掲載

・市のTwitter、LINEによる配信

・チラシは回覧(市内全域)、公共施設、報告会会場への掲示、議員による個別配布

・各報道への情報提供(取材依頼)

(3) 配布資料や議会説明資料等について(R5年度の例)

①配付資料

・議会概要と議会活動報告資料、地域課題記入用紙

②報告内容

・「議会概要」と「令和5年度の新たな取り組み(議会の事業評価)」

③報告方法

・代表1名が報告(スクリーン等の使用なし)

(3)議会側の事前準備(備品等)について

①備品(別紙)

4.議会報告会の進め方について

(1)出席議員と会における議員の役割について

①全議員出席(特別委員会委員2名 常任委員会委員2名を配置 地元会場を優先)

②議員の役割

・司会進行 進行補佐 報告者各1名 書記 受付各2名

・意見交換の回答は全議員で対応

・写真撮影、ICレコーダーによる録音は事務局職員担当

(2)報告内容設定と報告方法について

①報告内容は委員会で協議し、全員協議会で承認を得る

②配付資料をもとに代表者1名が報告

(3)アンケート(内容等)について

・年代 参加回数 開催日時 会場 会の感想 会に求めるもの 議会だよりを読む頻度
自由記述

※報告よりも意見交換をメインに実施している

5.会場設営等について

(1)会場の設営等と録音録画等について

①会場設営は会場により様々な形態で行っている

(2)録音録画等について

①司会者が録音と写真撮影する旨を参加者に伝える

6.終了後の対応について

(1)報告書作成と公開について

①議会だよりに実施内容を掲載し、報告書を議会のウェブサイトで公開



(2)要望事項等を執行部に伝達する等の対応について

①要綱等に明記しておらず検討課題

②5年度は意見や要望を特別委員会にて各常任委員会に振り分けて扱いの対応をする
(3) 振り返り等の対応と今後の課題について

①参加者と議員アンケートを踏まえて特別委員会にて次回に活かすよう協議する

②今後の課題について

- ・参加人数の減少と参加者の高齢化
- ・開催時期と名称変更の検討



主な質疑応答

質) 書面による意見交換とはどのように行うのか

答) 議会があらかじめ用意したテーマに沿って高校生が思いを書面で回答した

質) 特別委員会以外の議員、改革に前向きではない議員への対応は

答) 会派制がなく常任委員会でまとまりやすい 全協で様々な討議をしており協力的

質) 高校生は選抜せず最初から多くの生徒が対象だったのか

答) 当初は2年生が対象だったが学校に委任した

質) 意見交換会を授業でやることに学校との調整は

答) 学校管理職の意向が大事で社会科の先生も協力的、議会と学校とのコミュニケーションがよく取れていた

質) 意見交換会を経て作成した請願の内容は

答) 高校生の意見を直接請願書にまとめた

質) 議会報告会が28年だけ2会場で行った理由は

答) 参加者の減少や要綱の変遷もあったが28年は大きな会場で行った

質) 何度も発言したりする参加者への対応策は

答) 冒頭に全員の声を知りたいから一人何分以内とか他の人の意見も聞きたいから等を司会者が言っておくとか

質) 議会報告会の宣伝方法は

答) 自治会の会議に出たり回覧板で周知したり市のSNSも使ったが議員も勧誘した

質) オンライン開催の特徴などは

答) ZOOM 開催なので参加者を事前に募集し特定しないとできない

質) 高校生との意見交換会でのテーマの決め方は

答) 湖西自慢や困ったことなど ブレインストーミングも使った

<p>市への提言 または要望</p>	<p>市への提言等ではないが、今後の検討課題を記す</p> <p>【高校生との意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受けた意見を政策に反映させる施策の検討が必要との考えから、請願書作成に至るまでの準備をするか、議員による出前講座を使って課題の抽出から深掘までを行い、政策立案までつなげていくこと（最終的には議場において高校生議会の開催）も検討する必要があるかもしれない ・意見交換会を授業の中で行っていくことの検討 ・現在は特にテーマを決めずに実施しているが、テーマに沿って行う意見交換も有意義かも ・実施に関する要綱等は作成するが、広く使えるようなものも検討すべき ・地元の高校以外に通う市内在住者の意見を聴く機会も設けたい <p>【議会報告会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な会場での開催も必要 ・市民への周知として市の公式 X や公式 LINE の活用を考えるべき ・報告会で配布する資料の充実も検討すべきでは（議会活動報告資料、地域課題記入用紙等） ・市民との意見交換の場としての議会報告会をどのように運営していくか
------------------------	---

<p>視察内容【2日目】</p>	
<p>視察自治体</p>	<p>愛知県長久手市議会</p>
<p>視察項目</p>	<p>議会の ICT 化について</p>
<p>概要</p>	<p>昨今、全国の自治体で、業務の効率化を目的として、議会の ICT 化が進んでいる。長久手市では、令和4年から議員へタブレット端末の貸与を開始し、ペーパーレス化を急速に進めている。その他、本会議のみならず、常任委員会や予算決算委員会、議会運営委員会、特別委員会等のライブ配信を行っており、ICT を活用した情報発信に努めている。安中市議会としても、タブレット端末の活用や常任委員会等のライブ配信も検討しており、長久手市の取組が参考になると考え視察することになった。</p>
<p>説明内容</p>	<p>【長久手市の概要】</p> <p>名古屋市の東側に位置し、名古屋市や豊田市に隣接することから、子育て世代の流入が多く人口増加が続いている。ジブリパークがあり、イオンモール、IKEA などの大規模商業施設が相次いでオープンしている。</p> <p>総面積…21.55 km² (安中市 276.31 km²)、 人 口…60,770 人 (安中市 54,643 人 (R5.12.31 現在))</p>

【タブレット導入までの主な動き】

平成 23 年度…議員控室や会派室に有線・無線 LAN を整備。

平成 24 年度…先進自治体視察（鳥羽市議会）。

平成 25 年度…「委員会」に個人所有のタブレット端末の持ち込みを許可。

平成 26 年度…「予算特別委員会」にも // 。

平成 27 年度…議会 Facebook を開設。

平成 28 年度…**執行部**がペーパーレス会議とタブレット端末を導入。

令和3年度…議会だよりの最終校正をオンライン会議で行う（正副部会長チェック）。

全議員にタブレット端末貸与開始。これにより、本会議を含む全会議のペーパーレス化が始まる。

令和4年度…**本会議・委員会のインターネットライブ配信を開始。**

【導入端末】

機種：**SurfacePro7+**（サーフィスプロセブンプラス）2in1 パソコン

※2in1 パソコンとはタブレットとしてもノートパソコンとしても使えるパソコンのこと。
64 ビット（デタッチャブル型…キーボード着脱可）

OS:windows11

画面サイズ:12.3 インチ

数量:24 台（議員 18 台、事務局 2 台、執行部 4 台）

リース代 5 年総額 **約 653 万円**（リース期間終了後に無償譲渡契約）

※キーボード、タッチペン、標準アプリ等の料金を含む）

データ通信量:5GB/月 ソフトバンク

iPad や Lenovo も検討したが、コロナ禍やギガスクール構想等の影響により、調達が困難だったことや、職員が windows を使用していることを考慮し、Surface に決定した。

【標準搭載システム（アプリ）】

●JUST Office（ジャストオフィス）

（株）ジャストシステムのソフト。文書作成、表計算、プレゼンテーション等の機能がある。マイクロソフトの Excel、word、PowerPoint との互換性もある。

※長久手市全職員はこのソフトを使用している。

●moreNOTE（モアノート）

富士通のソフト。様々な資料（書類や画像、動画など）をサーバーで一元管理し、タブレットなどから閲覧・共有できるペーパーレス会議システム（クラウド型）。

※富岡市の SideBooks のようなもの。

大きな特徴…**カレンダーから資料の閲覧ができる**。これにより、過去のその日に使用した資料の閲覧ができる。また、当日に紙で用意されていた資料もスケジュールから事前に閲覧できる。

※注意点…実際のページ番号とデータのページ番号を必ず一致させる！
執行部との調整が重要。

●**desknets NEO** (デスクネッツネオ)

(株)ネオジャパンのソフト。スケジュール管理や通知が送れるグループウェアシステム。

●**Microsoft 365** (マイクロソフトサンロクゴ)

市の全課に割り当てられているオフィスシステム。主に Outlook、OneDrive、Teams を使用。これにより**議員にメールアドレスの貸与を開始**。アプリの **Teams (チームズ)** でビデオ会議も可能。

●**zoom** (ズーム)

ビデオ会議システム(無料版)。議会専用として有料版アカウントを一つ契約。
議会費で支出している。

【**長久手市議会の特徴など**】

- 議員は、貸与端末以外の**自分の端末**の持ち込むことができる。2 台使う議員もいる。
- 書類は、基本データで提出する。
- 条例改正により、議員の**委員会オンライン参加**が可能となった。
(特別な理由に限る)
- 議員全員がビデオ会議システム**を使用できる。会派室ではなく、全議員が自宅からオンラインで研修をすることができた。苦手な議員には何度も練習をしてもらった。
- 議会だよりの最終校正をオンライン会議で行う(正副部会長チェック)。
また、**Teams** を活用し、リアルタイムで原稿の同時編集が可能。
- 予算書・決算書の紙冊子も配布していない。
- Facebook は議会事務局員ではなく、議員が自分で投稿している。



主な質疑応答

質) ペーパーレス化に向けた議員アンケートの概要を聞きたい。あと議員の年齢構成を
答) アンケートの設問としては、議会以外でのタブレット端末の活用について、Wi-fi 以外での通信手段について、全議員が同じ端末が良いか、など合計 7 問の項目がありました。年齢構成ですが、当時は 70 歳くらいの方が 3 人、60 歳代が 8 人、一番下で 40 歳くらいでしたが、年齢が高いから苦手というわけではないように感じます。

質) 貸与タブレットに自分が独自で利用しているソフトなどを入れていいのか。また、その際の基準はあるのか。また、自分の端末と貸与端末でデータのやり取りなどしてもいいのか。

答) 他市を参考に、端末使用基準申し合わせ事項を作成しました。申請を出してもらい、議長の許可のもと事務局がソフトをインストールします。許可の基準は設けていないので、だいたい許可しています。端末のデータのやりとりですが、moreNOTE や desknets NEO はクラウド型なので、どのパソコンでも使用が可能です。なので、そもそもデータのやり取りがあまり必要ではなく、特にやり取りに制限は設けていません。

質) **常任委員会等のライブ配信**について概要を聞きたい。

答) この部屋が委員会室で、天井に着いている**定点カメラ**で撮影しています。外部の業者に委託しています。録画の場合も業者が編集してくれるので、事務局の手間はあまりありません。年間 **240 万円**ほどかかっていますが、本会議のライブ中継や編集作業も含まれています。ライブ配信には Wi-fi ではなく、有線の回線を使用しています。

質) ICT 化の市民の評価はどうか。議員のスキルアップには繋がっているか。

答) 市民の反応はとくに無いです。タブレットを使って当たり前と思っていると思います。ギガスクール構想が進んだことで、我々議員もついていかなければと感じました。

質) オンライン会議を行う際に、Teams と zoom のどちらを活用するのか。

答) そもそも、Teams は、議員にメールアドレスを貸与するために Microsoft 365 と契約した時のパッケージに入っていたものなので、オンライン会議のために導入したわけではありませんでした。基本は zoom で、Teams も使用できるというのが現状です。

質) 導入での弊害はあるのか。

答) **グループウェアを開く癖をつけてもらわないといけない**ので、課長が毎日なにかつづやっています。それを見たいためにグループウェアを開いて、他の資料も見ってもらうようにしています。また、紙資料が必要な方には、自分で製本会社にもっていくか、政務活動費を使って事務局で印刷することも可能となっています。

質) SideBooks ではなく、**moreNOTE** を選んだ理由は。

答) SideBooks は 50 人利用だと安くなるが、当市では 30 人くらいの利用しかないた

	<p>め、割高になってしまい、結果 <u>moreNOTE の方が安かったこと</u>が主な理由です。また、SideBooks だと資料を探すのが大変だと近隣自治体で聞いていました。moreNOTE だと、ソフトを立ち上げるとカレンダーがあり、そこから <u>会議資料にすぐたどり着けること</u>も選んだ要因です。非常に簡単で分かりやすいです。一年前の資料も開けます。</p> <p>質) Facebook の投稿にルールなどあるのか。 答) 申し合わせ事項を設けています。広報広聴協議会の広報部会が担当で投稿しています。また議長に関することも発信することになっており、副議長が充て職で協議会長になっているので、議長については副議長が投稿することにしました。</p> <p>質) zoom 会議の研修や活用の頻度を聞きたい。 答) 新型コロナが5類に移行したことで zoom の活用頻度はだいぶ減っていますが、議会だよりの正副部長チェックでは活用しており(年 5 回)、さらに他の議員もその会議に自由に参加できるようにしています。全体の研修よりも個別で操作を教えることを重視しました。ICT は議会事務局が主体となって議員さんを引っばっていくことがとても重要です。事務局さん頑張ってください!</p>
<p>市への提言 または要望</p>	<p>長久手市が使用しているタブレット端末 SurfacePro7+はタブレットにもノートパソコンにもなる 2in1 パソコンで、価格は高額になるが、windows11 を搭載しており、一般に使用しているパソコンと操作がほぼ変わらないので、初めて使用する方にもスムーズに使用できる利点は大きい。今後タブレット端末を導入する上で選定判断の参考になった。また、ペーパーレス会議システムの moreNOTE については、スケジュールの日時から目的の資料を見つけられる機能に高い利便性を感じた。令和 7 年度導入に向け、タブレットの端末機種及びアプリ等を選定し予算要望を行なっていきたい。</p> <p>また、常任委員会等のライブ配信についても非常に参考になった。安中市でも、将来的にはライブ配信をしていく予定なので、新庁舎建設の際には、委員会室にも有線、無線両方のインターネット回線及び配信用カメラの整備を要望する。また、事務局の負担軽減のため、外部委託の場合の費用を算定し、予算要望をしていきたい。</p>